

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(令和2年12月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m³以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:102)
2. 調査実施時期 令和2年12月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査

4. 企業判断指数の算出方法

[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)

5. 調査結果(回答工場数:94社 / 回答率:92.2%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6
R2.3	16	<i>15</i>	<i>0</i>	-	-	-
R2.6	-	31	<i>32</i>	<i>13</i>	-	-
R2.9	-	-	29	<i>11</i>	<i>8</i>	-
R2.12	-	-	-	-5	<i>-2</i>	<i>-10</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6
当年	193,380	204,586	195,235	-	-	-
(前年)	178,606	183,683	177,410	152,805	193,380	204,586
対前年比	108%	111%	110%	-	-	-

(概況)
トド在庫量は前年を上回っているが、原木の入荷の減少から、1月以降は前年を下回ると回答した企業がやや多い。

(回答企業の主なコメント)
適正在庫/自社造材班で調整/入荷2割抑制/冬の素材生産・入荷減少/今後の原木不足を懸念/国有林出材を望む/コロナで在庫処理苦慮/劣化材処理優先で手当はそれ以降

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6
R2.3	-74	<i>-75</i>	<i>-60</i>	-	-	-
R2.6	-	-78	<i>-89</i>	<i>-78</i>	-	-
R2.9	-	-	-82	<i>-84</i>	<i>-74</i>	-
R2.12	-	-	-	-67	<i>-71</i>	<i>-58</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6
当年	181,768	186,163	176,812	-	-	-
(前年)	197,058	205,340	212,330	221,166	181,768	186,163
対前年比	92%	91%	83%	-	-	-

(概況)
トド消費量は低調で推移している。1月以降は第3波以降のコロナによる影響次第で不透明感が増している。

(回答企業の主なコメント)
建築材動き悪い/前年並みも売上は減少/栈木の出荷減少/ラミナ・梱包材4割減/魚箱6割減/DIY増加も収益性は低い/コロナで見通し立たず

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6
R2.3	-11	<i>-30</i>	<i>-29</i>	-	-	-
R2.6	-	17	<i>26</i>	<i>15</i>	-	-
R2.9	-	-	18	<i>9</i>	<i>-2</i>	-
R2.12	-	-	-	-21	<i>-21</i>	<i>-29</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6
当年	254,678	284,236	280,015	-	-	-
(前年)	224,394	234,584	237,959	218,917	254,678	284,236
対前年比	113%	121%	118%	-	-	-

(概況)
カラ在庫量は前年を上回っているが、製品受注が若干回復傾向にあり、1月以降は前年を下回ると回答した企業が多い。

(回答企業の主なコメント)
安定入荷の予定/肌感覚不足気味/減ってきている/受注不安定で仕入様子見/山棒チップ減少傾向/入荷は受注量に比例/1~3月は製材・合板が競合すれば減少/トドマツより在庫低調

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6
R2.3	-78	<i>-78</i>	<i>-65</i>	-	-	-
R2.6	-	-85	<i>-92</i>	<i>-79</i>	-	-
R2.9	-	-	-87	<i>-84</i>	<i>-64</i>	-
R2.12	-	-	-	-65	<i>-71</i>	<i>-51</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6
当年	227,922	205,643	204,317	-	-	-
(前年)	262,626	282,191	276,138	259,279	227,922	205,643
対前年比	87%	73%	74%	-	-	-

(概況)
カラ消費量は前年を下回っているが、秋以降若干回復傾向にある。1月以降は第3波コロナの影響次第で不透明感が増している。

(回答企業の主なコメント)
梱包材やや回復/ラミナ5割減/オーダー入らず/10月動き若干有~11・12月減少/1~3月受注減少/コロナで不透明感拭えず/当分は悪いと予想/緩く改善/昨年並に近づく/カラを建築材で使用し、引合活発の見通し

道内の木材需給の見通し（令和2年12月調査分）

—令和3年1月公表—

北海道水産林務部林務局林業木材課
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

原木在庫・製品荷動き 前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

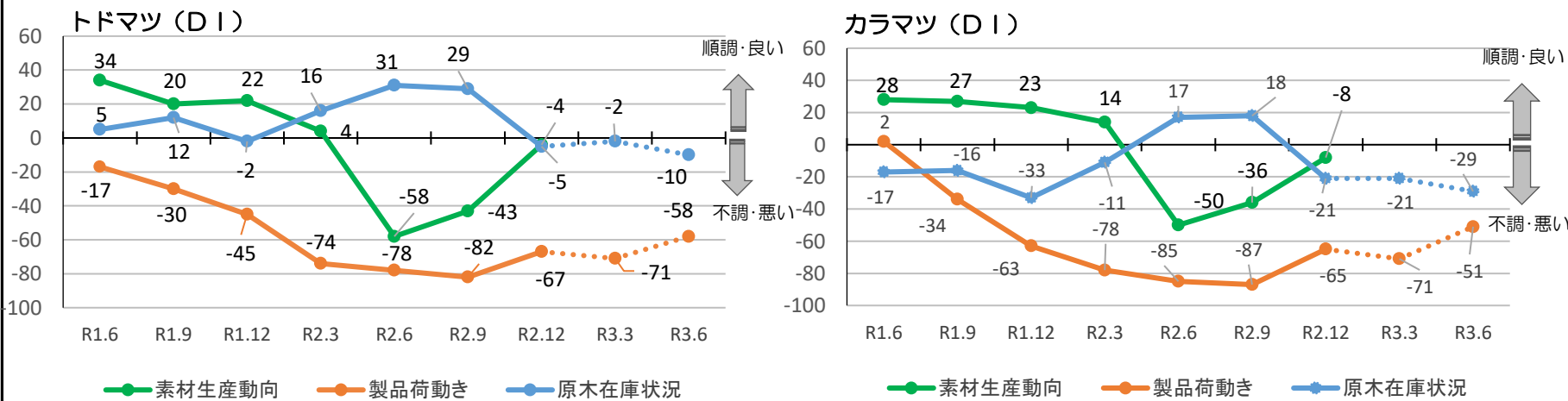
	《10~12月》	《R3.1~6月見通し》		《凡例》
トドマツ				《原木在庫》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
カラマツ				
			○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を上回っているが、原木入荷の減少から前年を若干下回る見通し。 ○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では低調に推移しており、引き続き前年を下回る見通しだが、コロナの影響次第で不透明感が増している。 ○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を上回っているが、製品受注が若干回復傾向で、今後は前年を下回る見通し。 ○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では低調に推移しており、引き続き前年を下回る見通しだが、コロナの影響次第で不透明感が増している。	《製品荷動き》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》

素材生産動向 前月と比較した林業事業体の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

	《7~9月》	《10~3月見通し》		《凡例》
トドマツ				《順調》 《並み》 《不調》
カラマツ				
			○「素材生産動向」は「順調」10%、「並み」46%、「不調」44%となっており、不調の見通しだが回復傾向にある。 ○「素材生産動向」は「順調」14%、「並み」51%、「不調」35%となっており、不調の見通しだが回復傾向にある。	

素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI
 ○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

※「判断指数（DI）」＝（「順調・良い」とした比率（％））－（「不調・悪い」とした比率（％））

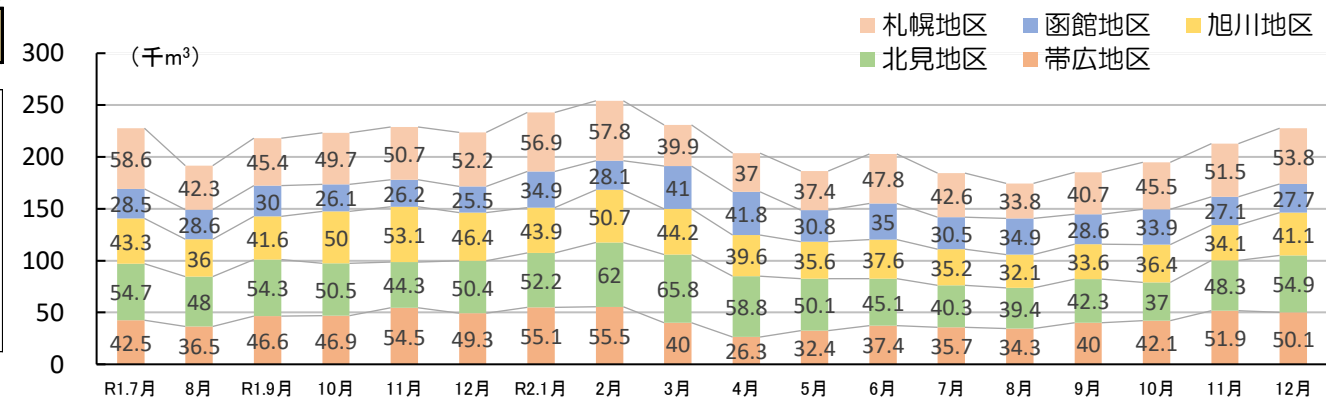


《参考情報》

注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

素材生産量の推移

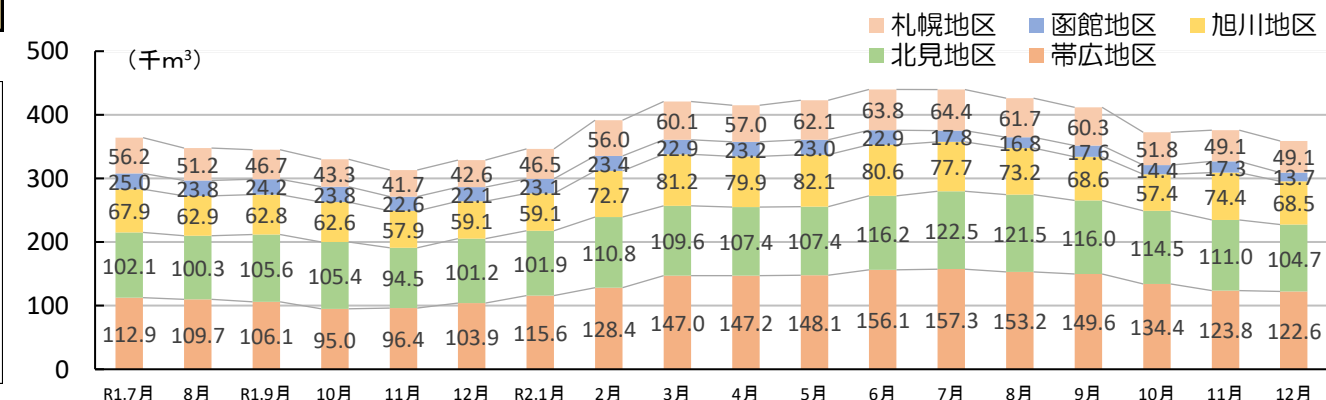
- 12月の素材生産量は前月比14.7千m³増の227.6千m³
- 1月の素材生産量は3.7千m³減の223.9千m³の見通しで、札幌・旭川地区で減る見通し



出典：素材生産動向調査（北海道森林管理局）による

製材工場の原木在庫量の推移

- 12月のトドマツ原木在庫量は前年同月に比べて減少し、原木消費量は前年同月に比べて減少する見込み
- 12月のカラマツ原木在庫量は前年同月に比べて増加し、原木消費量は前年同月に比べて減少する見込み



出典：製材工場動態調査（北海道）による

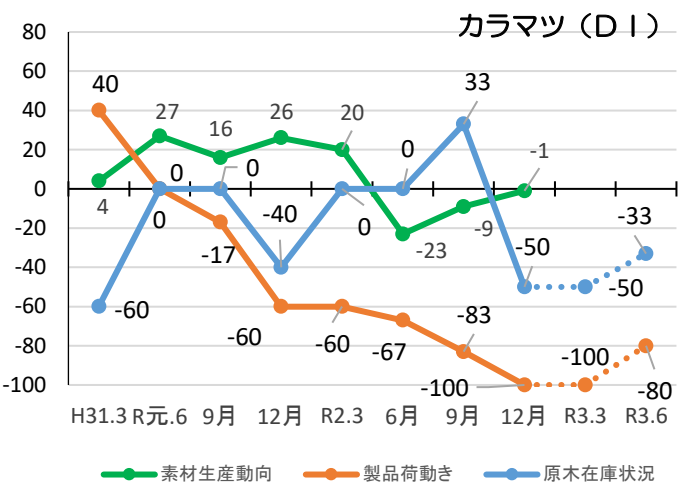
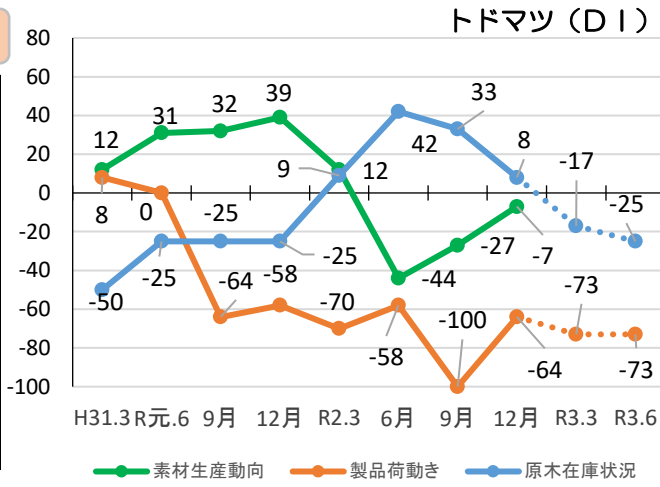
注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でR2.11~12月は速報値でエゾマツを含む

素材生産と原木在庫・製品荷動きのDI (地区別)

○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

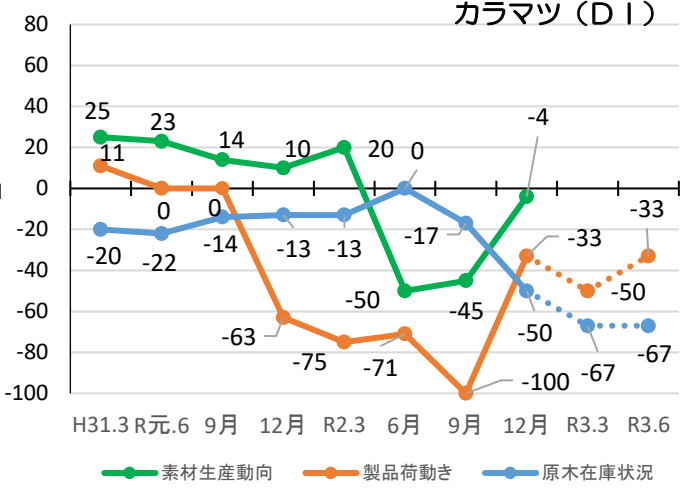
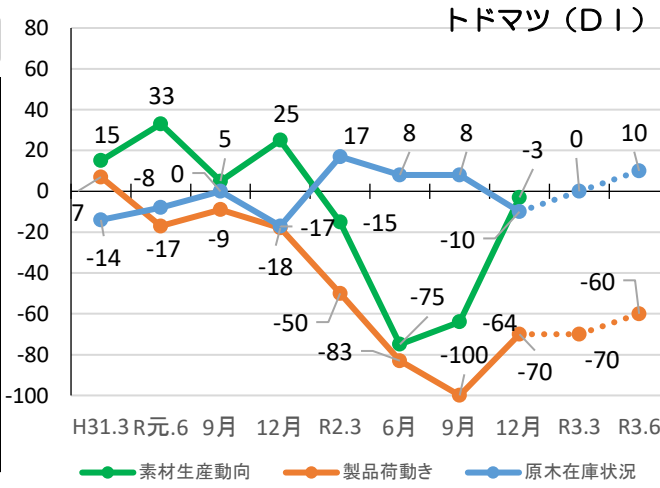
札幌地区 (石狩・空知・胆振・日高)

- 【トドマツ】**
- 素材生産は、「並み～不調」の見通しに回復
 - 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し
- 【カラマツ】**
- 素材生産は、「並み程度」の見通しに回復
 - 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し



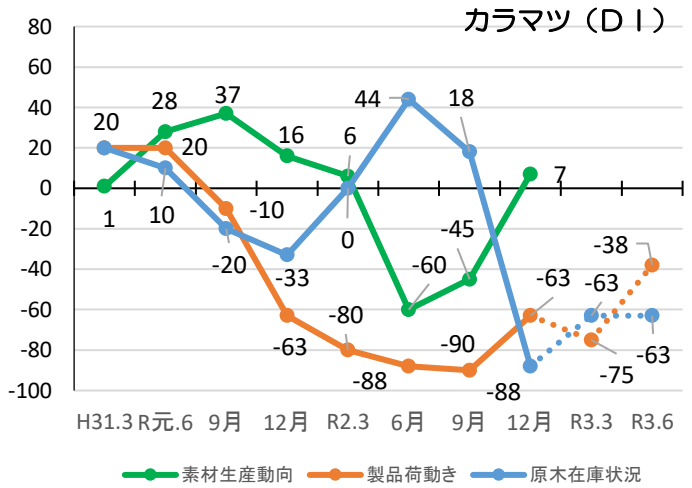
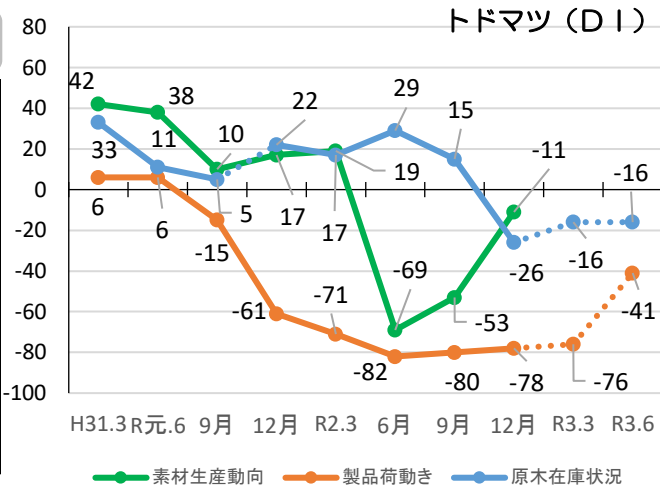
函館地区 (渡島・檜山・後志)

- 【トドマツ】**
- 素材生産は、「並み～不調」の見通しに回復
 - 原木在庫は前年並みに上昇傾向、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し
- 【カラマツ】**
- 素材生産は、引き続き「不調」の見通しも回復傾向
 - 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を下回る見通し



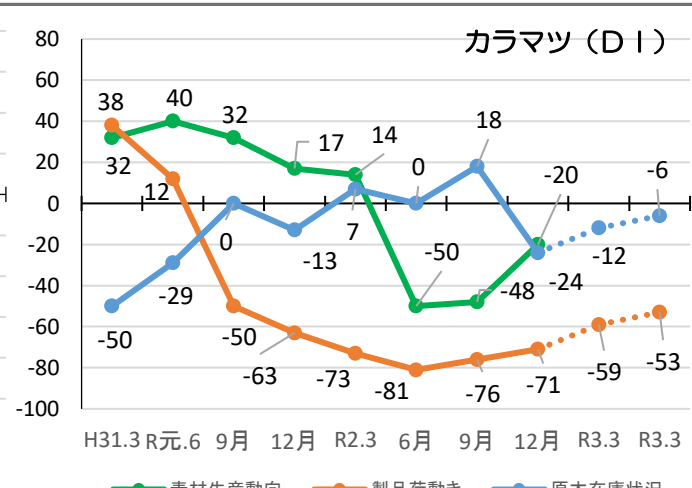
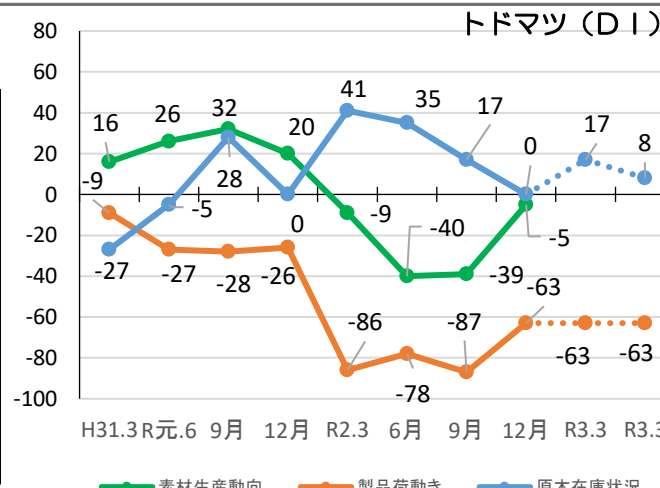
旭川地区 (上川・留萌・宗谷)

- 【トドマツ】**
- 素材生産は、引き続き「不調」の見通しも回復傾向
 - 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく下回るも回復傾向の見通し
- 【カラマツ】**
- 素材生産は、「並み～不調」の見通しに回復
 - 原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を大きく下回るも回復傾向の見通し



北見地区 (オホーツク)

- 【トドマツ】**
- 素材生産は、引き続き「不調」の見通しも回復傾向
 - 原木在庫は前年を若干上回り、製品荷動きは前年を大きく下回るもやや回復傾向の見通し
- 【カラマツ】**
- 素材生産は、引き続き「不調」の見通しも回復傾向
 - 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく下回るもやや回復傾向の見通し



帯広地区 (十勝・釧路・根室)

- 【トドマツ】**
- 素材生産は、引き続き「不調」の見通しも回復傾向
 - 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し
- 【カラマツ】**
- 素材生産は、引き続き「不調」の見通しも回復傾向
 - 原木在庫は減少し前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

